

『看護師就職応援キャンペーン』に出展!

看護学生の就労、潜在看護師の掘り起こしや復職支援を目的としたイベントの『看護師就職応援キャンペーン2017』 が2月28日、朱鷺メッセのスノーホールを会場に開催され、両津病院をはじめ58の病院・団体が出展しガイダンスを行いました。

2回目の参加となる今年は、WLB-PTメンバーから選抜された3名が事前に昨年の情報を仕入れて入念な準備を進め、早朝フェリーで現地に乗り込みました。ブースはWLBの取り組みを紹介した情報誌の『だちかんちゃ』を壁一面に掲示し、来訪者の目を引く工夫をしましたが、しばらくは訪れる人はいませんでした。そのうちに佐渡出身という看護師さんとその同僚の方が、ブースに引き込まれる様に来てくれました。公立病院である両津病院の勤務形態や年休取得状況、福利厚生などの説明に興味を示し、更に突っ込んだ質問もいただきました。新潟での出展のため、まずは佐渡に興味を持ってもらうことが大切であると今回強く感じました。来年の出展の際には、佐渡の魅力を更にPRしたいと思います。(報告:石井)



準備は余裕でOK



満面の笑みでおもてなし

看護職のWLB推進フォローアップワークショップに参加しました

WLB推進事業に取り組んでいる県内11病院が一堂に集まり、今年度の活動報告会『フォローアップワークショップ』が、3月3日に開催され、次年度に向け、活気ある事業継続のために意見交換を行いました。

両津病院からは、山下部長が報告を行いました。組織の立ち上げからキックオフ、そこから腰痛対策など様々な取り組みを行ってきました。

果たしてWLBの推進につながっているのか?と不安もありましたが、

客観的な見方で指導をいただき、取り組みの方向性は間違っていなかったと安心しました。 4月からは2年目の取り組みが始まります。これまでの経験を活かしてプロジェクトチーム 一同ステップアップしていきたいと思います。皆さんのご協力をお願いします。



場の県看護研修センター



3月12日発行の新潟日報佐渡版に、『両津病院移転新築へ』という記事が載りました。これは市長の市議会での答弁を受けて書かれたもので、内容は「両津病院は老朽化による改修や耐震化が必要であるが、現地では津波被害が想定されるので移転新築の方針を固めた。移転先は両津文化会館の用地が最有力で、平成28年度中に基本構想を策定する…。」というものです。病院建設は構想を策定してから、完成までに数年を要する大きな事業です。とんな病院になるかはこれから検討していくことになりますが、病院が新しくなるという情報が、明るいニュースとして市民に伝わってくれたらいいな、と思います。